

第31回 日本製鉄音楽賞 受賞者決定のお知らせ

第31回日本製鉄音楽賞の受賞者は、以下の通り決定しましたので、お知らせいたします。

第31回 日本製鉄音楽賞

《フレッシュアーティスト賞》副賞 300万円

川口成彦 かわぐち なるひこ (フォルテピアノ)

【贈賞理由】

2018年のショパン国際ピリオド楽器コンクール第2位入賞で広く知られる存在となったが、それ以前から確固たる音楽観での活動を展開しており、近年はコンサートや録音においてさらに視野の広い音楽表現を見せている。一般的な先入観からの“古楽器”という枠を超えた、それでいて揺るぎない基礎力からの音楽。豊かな感性と知識力ゆえ、益々楽しみな逸材である。
(上田弘子選考委員)

《特別賞》副賞 100万円

猪狩光弘 いがり みつひろ (ステージマネージャー)

【贈賞理由】

猪狩さんは永年にわたってステージマネージャーとして演奏会を舞台裏から支え続け、細やかな配慮の行き届いた周到な仕事ぶりによって演奏家から絶対的な信頼を得てきた。サントリーホール在任中の功績はもちろんのこと、日本の楽壇全体に寄与してきたプロフェッショナルな裏方としての活動は高く評価されるべきであり、当音楽賞の特別賞にまことに相応しい。
(寺西基之選考委員)

なお、第31回日本製鉄音楽賞の贈呈は、2021年3月22日(月)に日本製鉄株式会社本社において行います。また、贈呈とは別に、受賞記念コンサートを、2021年7月に開催予定です。

Make Our Earth Green



第 31 回日本製鉄音楽賞 フレッシュアーティスト賞

川口成彦 かわぐち なるひこ (フォルテピアノ)

1989 年 4 月 29 日、岩手県盛岡市に生まれ、横浜で育つ。東京藝術大学／アムステルダム音楽院の古楽科修士課程修了。フォルテピアノを小倉貴久子、リチャード・エガー、クラヴィコードをメノ・ファン・デルフトの各氏に師事。現代のピアノに限らず、フォルテピアノやチェンバロ、クラヴィコードといった歴史的な鍵盤楽器での演奏活動を広く展開している。2013 年第 1 回ローマ・フォルテピアノ国際コンクール (M. クレメンティ賞) 優勝、2016 年ブルージュ国際古楽コンクール・フォルテピアノ部門最高位、2018 年第 1 回ショパン国際ピリオド楽器コンクール第 2 位をはじめ数多く受賞。フィレンツェ五月音楽祭、モンテヴェルディ音楽祭 (クレモナ)、ユトレヒト古楽音楽祭、ゴールドベルグ音楽祭 (グダニスク)、「ショパンと彼のヨーロッパ」音楽祭 (ワルシャワ) 等、欧州の音楽祭にも出演を重ねる。アムステルダム国立美術館の特別展示ではスクエアピアノによる録音が使用される。2019 年にはマスカット (オマーン) の Royal Opera House Of Musical Arts のオープニングイベントに招かれ、王族の前で演奏を行う。協奏曲では 18 世紀オーケストラ、{oh!} Orkiestra Historyczna (カトヴィツェ) などと共演。2018 年 10 月にはロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団のメンバーと共に室内楽形式によるピアノ協奏曲のリサイタルをオランダにて開催。またモダンピアノでは 2016 年アメリカで世界的オーボエ奏者ニコラス・ダニエルと共にプーランクの《オーボエ、バソンとピアノのための三重奏曲》の最終稿の世界初演を行っている。演奏はこれまでにラジオでは NHK-FM、france musique (フランス)、RTBF (ベルギー)、Concertzender (オランダ)、Rai (イタリア)、RSI Rete Due (イタリア)、Vatican Radio (バチカン市国)、Radio Rossi (ロシア) などと取り上げられる。またテレビでは NHK-BS スペシャル「ショパン・時の旅人たち 第 1 回国際ピリオド楽器コンクール」で取り上げられた他、NHK-BS「クラシック倶楽部」、BS-TBS「日本名曲アルバム」などに出演。2016 年度明治安田クオリティ オブ ライフ文化財団奨学生。第 46 回日本ショパン協会賞受賞。現在アムステルダム在住。



© Fumitaka Saito

ソロ CD は欧州のレーベルからはドゥシークの作品集 (BRILLIANT CLASSICS・オランダ)、シューベルトの作品集 (Fuga Libera・ベルギー) が発売中。日本のレーベルからは 2020 年に『ショパン 夜想曲&小品集』(ACOUSTIC REVIVE、レコード芸術特選盤)、『6.19 LIVE Chopin × Chopin』(NYS classics、レコード芸術特選盤。紀尾井ホールで開催された江口玲氏との演奏会のライブ録音) が発売されている。その他 2018 年に自主レーベル MUSIS を立ち上げ、バルトークの『2 台のピアノと打楽器のためのソナタ』を記念すべき第一弾としてアナログレコードでリリースし (現在会場限定発売)、2019 年には 10 代の頃より特別な思い入れを持って取り組んできたスペイン音楽の初めての CD となる『ゴヤの生きたスペインより vol.1』(MUSIS、レコード芸術/朝日新聞特選盤) を発表する。2021 年にはトイピアノでの CD『Toy pianos and you』を発表予定。

Make Our Earth Green



第31回日本製鉄音楽賞 特別賞

猪狩光弘 いがり みつひろ (ステージマネージャー)

1953年9月30日、北海道帯広市生まれ。

1972年8月に上京し、日本のステージ・マネージャーの草分け的存在・宮崎隆男氏のもとを訪ねる。同年、東京交響楽団のステージスタッフとして活動を開始。1979年新日本フィルハーモニー交響楽団にアシスタントステージ・マネージャーとして入団。1986年6月新日本フィルハーモニー交響楽団ステージ・マネージャーに就任。オーケストラのステージ・マネージャーとして全国各地の劇場・ホールでの地方公演にも数多く同行した。2001年1月サントリーホール3代目のステージ・マネージャーに就任、2019年3月退任まで務めあげ、現在はフリーランスのステージマネージャーとして活躍と後進の指導を続けている。



【用語説明】

フォルテピアノ

1700年頃にイタリアのバルトロメオ・クリストフォリが考案したとされる。18世紀から19世紀前半の様式の歴史的ピアノの便宜的呼称。ドイツ語ではハンマーフリューゲル。時代とともに鍵盤の数やペダル、打鍵の機構などが進化していったため、さまざまな型が存在する。モーツァルトはヴァルター、ベートーヴェンはグラーフやシュトライヒャー、ショパンはエラールらが製作したフォルテピアノを愛用した。

ステージマネージャー

コンサートの現場の進行を統括する。リハーサルから本番までのスケジュールを管理し、音響や照明に指示を与えて、演奏家やオーケストラにベストな状態でパフォーマンスできるような環境を整え、あらゆるトラブルを想定して、それに対処する役割。そのために、所属するホールの音響や照明設備、各オーケストラの演奏者個々の譜面台の高さ等にいたる、舞台裏のすべてを知り尽くしているプロ。オーケストラやアンサンブルの編成配置のプランニングにはじまり、公演中にステージ転換がある場合は、楽器の移動などのセッティングの変更を行い、終演後の撤収作業までを扱う。

Make Our Earth Green



日本製鉄音楽賞

Nippon Steel Music Awards

日本製鉄音楽賞（旧称・新日鉄音楽賞、2012〔平成24〕年10月より新日鉄住金音楽賞、2019年4月1日より現行に改称）は、1990年（平成2年）に旧新日鉄創立20周年と、同社が提供してきた「新日鉄コンサート」放送35周年を記念して設けられた音楽賞です。この賞を通して、日本の音楽文化の発展と、将来を期待される音楽家の方々の一層の活躍を支援することを目的としています。

【賞の概要】

フレッシュアーティスト賞〔賞状／副賞 300万円〕

将来を期待される優れたアーティストを対象とした賞。

選考方針としては、技術のみにかたよらず、音楽性、将来性を重視し、広い範囲から選出。その年の最優秀者を決定し、賞を贈る。

特別賞〔賞状／副賞 100万円〕

クラシック音楽をベースにした活動を行っている個人を対象とした賞。

幅広いジャンルのなかから、演奏会を支えるなど音楽文化の発展に大きな貢献を果たした方に対して、賞を贈る。

【選考委員】

寺西基之（音楽評論家）

上田弘子（音楽評論家）

山野雄大（音楽評論家）

江口 玲（ピアニスト・東京藝術大学教授）

山崎伸子（チェリスト・桐朋学園大学特任教授・東京藝術大学名誉教授）

日本製鉄株式会社

日本製鉄音楽賞運営事務局

（公益財団法人 日本製鉄文化財団 受託事業）

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町6番5号

電話 03-5276-4500（代表） FAX 03-5276-4527

Make Our Earth Green



日本製鉄音楽賞（旧・新日鉄音楽賞／新日鉄住金音楽賞） 歴代受賞者

- 第1回（1990年度） フレッシュアーティスト賞／諏訪内晶子(ヴァイオリン)
特別賞／松本美和子(ソプラノ)
- 第2回（1991年度） フレッシュアーティスト賞／長谷川陽子(チェロ)
特別賞／宮崎隆男(ステージ・マネージャー)
- 第3回（1992年度） フレッシュアーティスト賞／服部譲二(ヴァイオリン)
特別賞／田中希代子(ピアノ)
- 第4回（1993年度） フレッシュアーティスト賞／田部京子(ピアノ)
特別賞／千葉馨(ホルン)
- 第5回（1994年度） フレッシュアーティスト賞／本名徹次(指揮)
特別賞／森島英子(オペラ・コレペティトール)
- 第6回（1995年度） フレッシュアーティスト賞／菅英三子(ソプラノ)
特別賞／三浦尚之(ミュージック・フロム・ジャパン代表)
- 第7回（1996年度） フレッシュアーティスト賞／川本嘉子(ヴィオラ)
特別賞／鶴田昭弘(ピアノ調律師)
- 第8回（1997年度） フレッシュアーティスト賞／樫本大進(ヴァイオリン)
特別賞／小川昂(音楽史料研究家)
- 第9回（1998年度） フレッシュアーティスト賞／横山幸雄(ピアノ)
特別賞／吉井實行(仙台フィルハーモニー管弦楽団事務局長)
- 第10回（1999年度） フレッシュアーティスト賞／佐藤美枝子(ソプラノ)
特別賞／瀧淳(アート・マネージャー)
- 第11回（2000年度） フレッシュアーティスト賞／木村大(ギター)
特別賞／永田穂(永田音響設計 特別顧問)
- 第12回（2001年度） フレッシュアーティスト賞／高木綾子(フルート)
特別賞／伊藤京子(別府アルゲリッチ音楽祭総合プロデューサー)
- 第13回（2002年度） フレッシュアーティスト賞／小菅優(ピアノ)
特別賞／杉理一(ニューオペラ・プロダクション代表)
- 第14回（2003年度） フレッシュアーティスト賞／天羽明恵(ソプラノ)
特別賞／井阪紘(音楽プロデューサー)
- 第15回（2004年度） フレッシュアーティスト賞／植村理葉(ヴァイオリン)
特別賞／栗山昌良(演出家)
- 第16回（2005年度） フレッシュアーティスト賞／木下美穂子(ソプラノ)
特別賞／青木十良(チェロ)
- 第17回（2006年度） フレッシュアーティスト賞／下野竜也(指揮者)
特別賞／村上輝久(ピアノ調律師)
- 第18回（2007年度） フレッシュアーティスト賞／上原彩子(ピアノ)
特別賞／木之下晃(写真家)
- 第19回（2008年度） フレッシュアーティスト賞／クアルテット・エクセルシオ(弦楽四重奏)
特別賞／金山茂人(財団法人東京交響楽団理事・最高顧問)
- 第20回（2009年度） フレッシュアーティスト賞／河村尚子(ピアノ)
特別賞／青木賢児(財団法人宮崎県立芸術劇場 理事長)
- 第21回（2010年度） フレッシュアーティスト賞／長原幸太
(ヴァイオリン・大阪フィルハーモニー交響楽団首席コンサートマスター [当時]、
現読売日本交響楽団コンサートマスター)
特別賞／豊田耕兒(ヴァイオリン・社団法人 才能教育研究会芸術監督)
- 第22回（2011年度） フレッシュアーティスト賞／萩原麻未(ピアノ)
特別賞／室井摩耶子(ピアノ)
- 第23回（2012年度） フレッシュアーティスト賞／松田理奈(ヴァイオリン)
特別賞／栗本尊子(メゾ・ソプラノ)

Make Our Earth Green



- 第 24 回 (2013 年度) フレッシュアーティスト賞／福士マリ子(ファゴット)
特別賞／岩崎 淑(ピアノ)
- 第 25 回 (2014 年度) フレッシュアーティスト賞／岡本侑也(チェロ)
特別賞／ひのまどか(音楽作家)
- 第 26 回 (2015 年度) フレッシュアーティスト賞／三浦友理枝(ピアノ)
特別賞／山田正幸(ラ・フォル・ジュルネ金沢音楽祭事務局チーフ・プロデューサー)
- 第 27 回 (2016 年度) フレッシュアーティスト賞／服部百音(ヴァイオリン)
特別賞／小栗哲家(プロデューサー・舞台監督・技術監督)
- 第 28 回 (2017 年度) フレッシュアーティスト賞／景山梨乃(ハープ)
特別賞／該当者なし
- 第 29 回 (2018 年度) フレッシュアーティスト賞／葵トリオ(ピアノ三重奏団)
特別賞／林喜代種(舞台写真家)
- 第 30 回 (2019 年度) フレッシュアーティスト賞／大西宇宙(バリトン)
特別賞／小林道夫(清里音楽祭創設・音楽監督、ゆふいん音楽祭音楽アドバイザー、
ピアニスト、チェンバリスト)

以 上

お問い合わせ先：総務部広報センター 03-6867-2146

Make Our Earth Green

